

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○国語の授業や家庭学習において、漢字を丁寧に書き、しっかりと習得しようとする姿勢が見られる。 ▲単元テストなどから、問題を理解して正しく解答することが難しい実態が見られる。	・言葉や文字を正しく読み解く力	・家庭学習と連携して、漢字や音読の宿題で言葉や漢字の正しい使い方を意識させる。 ・授業の中で振り返りを文章で書かせるようにする。	
社会	○見学や調べ学習に意欲的に取り組むことができる児童が多い。 ▲資料と社会的事象を結び付けて考えることに課題がある児童がいる。	・資料から情報を読み取り、主体的に課題を解決しようとする力	・副教材に掲載されている資料を授業で積極的に取り扱い、読み取る機会を設ける。	
算数	○ノートをきちんとまとめることができる児童が多い。自分の考えを式や図を使って表現しようとする児童がいる。 ▲かけ算九九や基礎的基本的な知識や技能について定着の度合いに二極化が大きい。	・既習の内容や基礎的基本的な知識や技能を活用して問題を解決する力	・授業の冒頭などに、基礎的基本的な計算の反復練習ができる機会を設ける。	
理科	○観察、実験を通して考えたことを進んで発表しようとする児童が多い。 ▲学習した得た知識を事象と結び付けて考えることに課題がある。	・観察や実験で得た知識を様々な形で表現する力 ・科学的知識を生活と結び付けて考える力	・始業時に前時の振り返りを行うことで、学習内容を定着させる。	
音楽	○歌唱や器楽など様々な学習活動に意欲的に取り組むことができている。 ○自分の考えを歌声などでのびのびと表現する児童が多い。 ▲自分の音に集中し、周りの歌声や音に耳を傾けていない児童がいる。	・自分の音と友達の音の両方を聴きながら、歌ったり演奏したりする力	・自分の音だけでなく、周りの歌声や音も聴きながら歌ったり演奏したりするように、演奏前に声をかけていく。 ・二部合唱や合奏の題材を取り扱い、周りの音に耳を傾ける大切さについて考えさせる。	
図工	○のびのびと楽しんで表現活動を行うことができる。 ○意欲的に作品に取り組むことができる。 ▲基本的な技能が身に付いていなかったり、授業への参加や意欲が低い児童が見られる。	・創意工夫をしながら表現することの喜びを味わう力	・導入で、道具の基本的な扱いについてスパイラルに反復して指導していく。ワークシートなども活用する。 ・児童の興味関心の高まる題材を設定する。 ・児童への意欲を喚起するような導入を工夫する。	
体育	○運動に意欲的に取り組み、楽しむことができる児童が多い。 ▲学習規律が徹底できない児童がいる。	・安全に気を付けながら、運動を楽しむ力	・用具の準備、片付けの管理を徹底する。 ・友達と声を掛け合える関係性を築き、みんなで安全に気を付けられるようにする。	